



土砂崩れにより倒壊した家屋 (栖本町河内)



土砂崩れにより通行止めとなった道路 (倉岳町棚底)



決壊した河内川の護岸 (栖本町湯船原)



水が流れ込んだ本渡中央商店街



土砂崩れにより崩落した道路 (有明町赤崎)



冠水した住宅地 (有明町大浦)

「大丈夫でしょ」は

キケン

災害から身を守るには

令和7年8月に天草市を襲った豪雨。家屋の全壊や半壊、土砂災害など、一部の地域で今までに経験したことのないような大きな被害を受けました。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。今号では、いざというときに身を守るための災害への備えについて紹介します。

防災危機管理課 ☎24-8817



令和7年8月豪雨を振り返る

令和7年8月10日から11日にかけて、天草市付近で、1時間あたり約110ミリから120ミリ以上の猛烈な雨を観測。大雨特別警報が発表され、本渡地域では、1時間の降水量として観測史上1位の記録を更新しました。

市内では、11日朝に本渡の町山口川で堤防を越えた水が住宅街や商店街などへ流れ込み、有明町や栖本町を中心に、道路損壊や冠水、土砂崩れ、河川の護岸決壊が発生しました。

このほか、家屋の浸水や農地へ土砂が流入するなど、大きな被害となりました。これだけの被害があったにもかかわらず、市民の皆さんの、自分の身は自分で守る、という「自助」や、周囲の人たちと協力し合う「共助」の意識の表れだと思われま

天草市の被害状況 (家屋のみ)

被害状況	件数
全壊	1
大規模半壊	2
中規模半壊	1
半壊	128
準半壊	39
準半壊に至らない (一部損壊)	343

※店舗や空き家を含まない家屋 (件)

Check

防災気象情報が大きく変わりました

- 警報・注意報の情報名に「レベル」が付きました
- 河川氾濫の危険度の伝え方が変わりました（特別警報の新設など）
- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川*の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流	高潮 海面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危機 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!>					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

*天草市には該当河川なし

被災者の声

令和7年8月豪雨で自宅が半壊したお二人に話を伺いました。

「こがんとくになると思わなかった」

かすしげ
釜元 一茂 さん (有明町大浦)



11日の朝7時30分頃、普段は大雨でも浸からない自宅前の道路が浸かり始め、「いつもと違う」と感じ、少し高いところにある元農協前の倉庫に妻と避難しました。その後、周辺の道が浸水して自宅に近づくことができず、被害状況を知ったのは水が引いたその日の夕方。自宅は床上40cmまで水に浸かり、畳は浮き上が

ってタンスは倒れ、小屋の農機具も全て駄目になりました。その時は「もうここには住めない」と思いました。断水しなかったおかげで家の中は水で流すことができましたが、再び住めるようになるまでかかったのは2カ月半。片付けを手伝ってくれた息子たちや親戚・知人の皆さんにはとても感謝しています。

海が近いので、大雨や台風の際はスマホのアプリで潮見表をチェックしたり、津波警報が出たときなどは避難したりしたこともありましたが、浸水は想定していませんでした。どこか人ごとだと思っていたのだと思います。やはり早めの避難が大切ですね。



▲浸水した自宅周辺。水門に詰まっていた流木などを取り除くと水が引いた

海が近いので、大雨や台風の際はスマホのアプリで潮見表をチェックしたり、津波警報が出たときなどは避難したりしたこともありましたが、浸水は想定していませんでした。どこか人ごとだと思っていたのだと思います。やはり早めの避難が大切ですね。



▶令和7年8月豪雨で浸水したボルト前や本渡諏訪神社駐車場などは浸水想定区域に入っている

各家庭に1部ずつ配布してある天草市総合防災マップ。河川が氾濫した場合の浸水想定区域や土砂災害警戒区域などが細かく示されています。自分の家や職場の場所を確認し、どんな災害の危険度が高いのか把握しておきましょう。

Check

総合防災マップ(ハザードマップ)で確認しよう



▲土砂が堆積した宗土岐川と流された小屋の一部



▲崩落した家の前の道路

「いざとなると慌てて何もできん」

あつし
勝木 篤 さん (栖本町河内)



自宅のすぐそばを流れる宗土岐川の水量が増えてきたので、朝8時頃に妻と2人で避難所となっている市役所栖本支所に避難しました。今思えば虫の知らせだったのかなと思います。その後宗土岐川が氾濫し、小屋が流され、自宅前の道路が崩落しました。小屋がなかったら母屋が流さ

れていたのではないかとゾッとします。避難するときは川から水や石が道路に流れ込み、軽トラでもなかなか進むことができませんでした。自宅に戻ることができたのは午後1時頃。道路が崩落していたため自宅の上の道から畑を通ってなんとか戻ることができました。小屋と一緒に中であつた農機具も全て流され、母屋は浸水してしまいました。妻が非常用持出袋を用意していましたが、いざというときは慌ててしまい避難するのので精一杯でした。持出袋は玄関の分りやすいところに置いておき、とにかく早めに避難することが重要だと思います。

災害時にも ごみの分別が 必要です

大きな災害が発生した場合、大量の災害廃棄物が発生します。平常時の収集方法では混乱が生じる恐れがある場合、災害廃棄物仮置場を設置します。

■災害廃棄物仮置場への ごみの出し方

- ・災害廃棄物は分別が必要です
- ・仮置場には、生ごみ（生活ごみ）は持ち込めません。地区のごみステーションへ出してください

●分別品目

ガラス、茶わん/ソファ、ベッド/布団、衣類/畳/家電4品目（テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン）/金属くず/木製家具/木くず/小型家電/パソコン/石膏ボード/瓦/プラスチック類/土砂（床下などに流入した土砂のみ）
※災害の種類などにより分別方法を変更することがあります

■災害廃棄物仮置場へ 持ち込みができないもの

分別されていない混合ごみ/廃自動車や自動二輪など、タイヤ/危険物（バッテリー、消火器、電池類）/廃蛍光管などの水銀含有物/天草市以外で発生したごみ

災害廃棄物仮置場を設置する場合は、防災行政無線、市ホームページ、安心安全メールなどでお知らせします。

問環境施設課 ☎32-7861

備蓄品は準備できていますか？

災害に備え、最低でも3日間は生活できるだけの量を用意しておきましょう。

■非常食

缶詰やレトルト食品など、そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの

■水

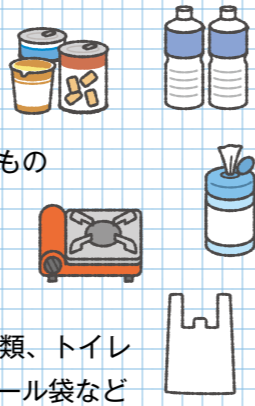
飲料水は1人1日3リットルが目安

■工具類

スコップやロープなど

■生活用品

カセットコンロとガスボンベ、毛布、衣類、トイレットペーパー、ドライシャンプー、ビニール袋など



自主防災組織インタビュー 亀場地区自主防災会

日頃からのつながりを大切に



亀場地区は、稜南中学校が第一次避難場所となっています。以前は学校がある区の住民で避難所の運営をしていましたが、「1つの区では負担が大きすぎる。亀場地区全体で支え合おう」との声が上がり、3年前から地区全体で運営する体制になりました。

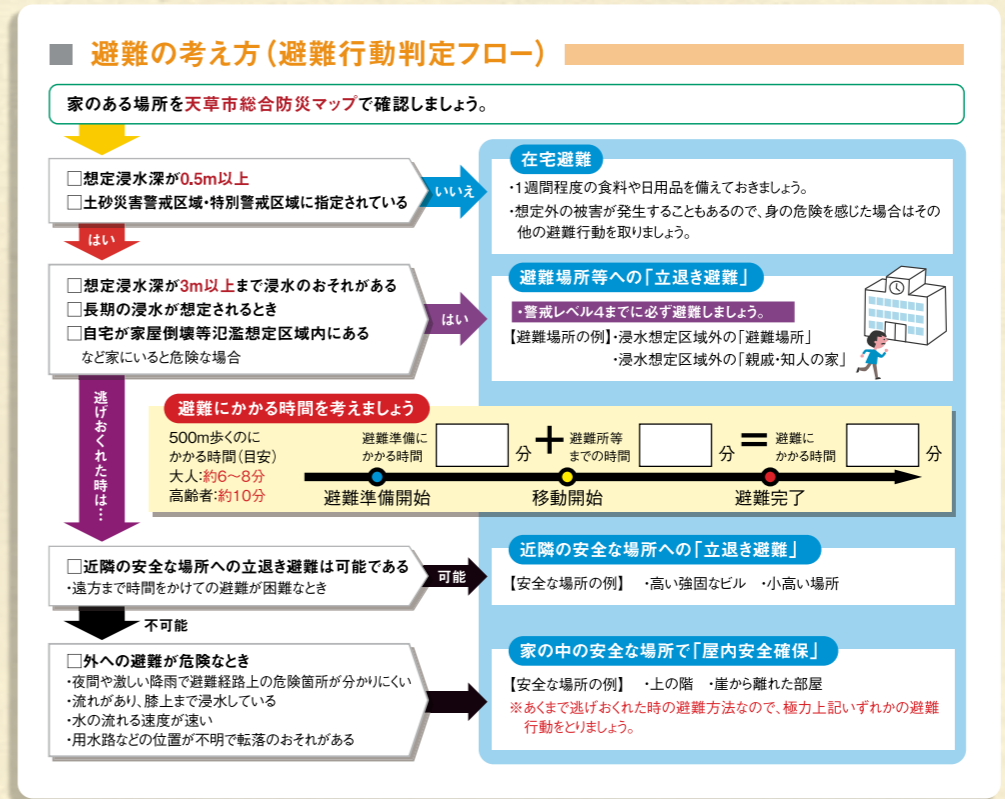
きっかけとなったのは、区長さんたちを中心に、東日本大震災規模の地震が天草で起きて津波が発生したら亀場地区がどうなるのかシミュレーションした動画を観たことです。「形だけの組織では意味がない。実働できる組織をつくらう」と意識が高まりました。

昨年8月の豪雨では、地区を流れる亀川があふれる危険が高まり、一部では浸水。食場地区などの山間部では土砂崩れも発生し、一時孤立した集落もありました。稜南中学校には100人を超える避難者が押し寄せましたが、3年前から行っていた防災研修が功を奏し、避難者の受け入れや誘導、情報提示、安全確保など、慌てることなく臨機応変に対応することができました。

いっどこで起こるか分からない災害に備え、毎月の研修と子どもたちを含めた特別研修を行っています。そのおかげか住民の防災意識が徐々に高まり、一斉避難訓練では9割以上の家庭が参加している区もあります。

日頃からのつながりが大切に、地域の祭りや行事に参加し、人と人とのつながりをつくっておくことが、いざというときの支えになると思っています。

避難行動判定フローとは、自宅の災害リスク（浸水、土砂災害等）を踏まえ、避難所に移動すべきか自宅にとどまるべきかなどを迅速に判断する基準です。総合防災マップで自宅を確認し、避難行動判定フローを作成してみましょう。



Check 「避難行動判定フロー」で
とるべき行動の確認を!

天草市版 マイタイムライン

マイタイムラインは、大雨や台風などの自然災害から、私たち自身を守るための防災行動計画です。事前に家族の避難計画をまとめておくことで、いざという時にあわてず行動ができます。

わが家の防災活用メモ

家族などの情報を書き込んでおきましょう。また、ハザードマップで自宅周辺の浸水想定区域や土砂災害警戒区域等、地震の揺れやすさなどを確認し、「自宅周辺の危険区域」に書き込みましょう。

名前	会社・学校名	緊急連絡先	電話番号	自宅周辺の危険区域
				洪水 m
				土砂災害 あり・なし
				高潮 m
				津波 m
				地震 震度

水害のマイタイムライン

総合防災マップの「避難行動判定フロー」(P.4)を確認して、避難開始するタイミング「避難スイッチ」を決めておきましょう。

作成日: 年 月 日

警戒レベル 3 (平日~数時間前)
レベル3 浸水・大雨・土砂災害・高潮警報

高齢者等避難

【避難場所】 (分)

【防災訓練】 訓練に参加

【防災情報】

【避難準備】裏面の「避難の準備」、総合防災マップの「日頃の備え」(P.1)を確認する。(分)

【その他】

【ポイント】
緊急レベル3(前日)の発表時刻を確認し、避難準備を確認する。
・緊急レベル3(前日)の発表時刻を確認し、避難準備を確認する。
・避難準備を確認し、避難準備を確認する。
・避難準備を確認し、避難準備を確認する。

警戒レベル 4 (1~2時間程度前)
レベル4 浸水・大雨・土砂災害・高潮危険警報

避難指示

【避難スイッチ】

【ポイント】
緊急レベル4(前日)の発表時刻を確認し、避難準備を確認する。
・緊急レベル4(前日)の発表時刻を確認し、避難準備を確認する。
・緊急レベル4(前日)の発表時刻を確認し、避難準備を確認する。

警戒レベル 5 (災害発生または直後)
緊急安全確保

※()書きの時間は、あくまで目安です。
※警戒レベルは、1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

マイタイムラインは、大雨や台風などの自然災害から身を守るための防災行動計画です。あらかじめ避難行動をまとめておくことで、自分と家族の行動がはつきりし、いざという時に慌てずに避難できます。

Check 「マイタイムライン」を
作ってみよう

マイタイムラインは、大雨や台風などの自然災害から身を守るための防災行動計画です。あらかじめ避難行動をまとめておくことで、自分と家族の行動がはつきりし、いざという時に慌てずに避難できます。

市ホームページからダウンロードできます。



「どっちも総合防災マップで作成できます。」

荒天時の道路通行止めにご注意ください

強風や大雨によって、道路や橋の通行が禁止・制限されることがあります。日頃から通行区間の規制基準を確認し、荒天時は早めの情報収集に努めて、安全な通行を心掛けましょう。

土木課 ☎32-6795

●通行規制基準

規制内容	通行注意	通行止め
① 風速	風速 15m/s ※歩行者・二輪車通行止め	風速 25m/s (一部 15m/s)
② 雨量 (落石・地すべり)	連続雨量 150mm ※連続雨量は、1時間に2mmを超える降雨を降り始めとして累計した雨量	連続雨量 200mm
③ 道路冠水	量水標の 黄色	量水標の 赤色 ※量水標未設置箇所は、冠水水深 30cm

市公式LINE▼



●規制箇所 (路線名など)

①風速

(1) 風速15m/s 通行止め	
① 天草未来大橋 (本渡道路)	⑥ 松島有明道路
② 瀬戸歩道橋 (市道瀬戸浜田尻線)	⑦ 中瀬戸橋 (本郷椀の木線・御所浦)
③ 天城橋 (三角大矢野道路)	⑧ 二江大橋 (国道324号・五和)
(2) 風速25m/s 通行止め	
④ 1号橋～5号橋 (国道266号・324号)	⑨ 若宮大橋 (国道324号・五和)
⑤ 天草瀬戸大橋 (国道266号・324号)	⑩ 通詞大橋 (市道通詞1号線・五和)
	⑪ 通天橋 (市道長手天附線・牛深)
	⑫ ハイヤ大橋 (牛深)

※(2)のうち⑥以外は15m/s以上で歩行者・二輪車通行止め

②雨量 (落石・地すべり)

① 国道389号(荅北町都呂々～天草町下田) 要因: 落石・波浪
② 県道牛深天草線 (二浦町～魚貫町) 要因: 地すべり
③ 県道深海線 (国道266号～県道本渡牛深線) 要因: 地すべり
④ 県道本渡牛深線 (久玉町中の浦～久玉町大の浦) 要因: 落石

③道路冠水

① 五和町二江・猪口モーターズ付近 (県道本渡五和線)
② 新和町小宮地 (県道本渡牛深線)
③ 河浦町一町田 (県道牛深天草線)
④ 河浦町白木河内 (国道389号)
⑤ 河浦町白木河内 (国道266号)
⑥ 深海町浅海 (県道本渡牛深線)
⑦ 有明町楠甫蛤 (国道324号)

Information

天草市一斉避難訓練を行います

6/14 日
9:00～サイレン

住んでいる区や自主防災組織、地区振興会などで避難場所が異なります。事前にお知らせで確認してください。

●総合防災マップを使用して、訓練参加者で以下の点について話し合ってみましょう。

- ・地域の災害リスクなど
- ・各自が住んでいる家の災害リスク (浸水想定区域、土砂災害警戒区域など)
- ・避難場所までの避難経路
- ・地域避難 (集合) する場所 (高台)
- ・非常時持ち出し品

●災害時を想定した対応訓練をしてみましょう。

- ・簡易トイレを使った体験訓練
- ・住民名簿などを活用した住民の安否確認訓練

地区の訓練に参加できない場合は…
総合防災マップを確認し、自宅の災害リスクや非常時持ち出し品の確認を行いましょう。



888 みつばちラジオで

放送時間 8:00～11:00

「天草市一斉避難訓練特別番組～備えるラジオ～」を放送します



Check

天草市防災サイトをチェック!

LINEのメニューから



LINEの登録はこちら▶



災害発生の危険度が一目で分かる「キキクル」など、防災情報が集約されています。「日頃の備え」についても確認しておきましょう。

一人ひとりが日頃からできる防災対策を行うことで、もしものときの被害を最小限におさえることができます。食料や水などの備蓄品を3日分備えておく、いざというときの行動を家族と話し合っておくなど、できることはたくさんあります。この機会に、防災についての知識を深め、日頃の備えを見直してみましょう。

